



平成28年度優良農家・第12回産業祭農産物共進会表彰式

12月20日、めめま農業研修センターで行われ、優良農家3人・2団体、産業祭農産物共進会1等賞受賞者29人が表彰されました。



文部科学大臣表彰受賞!

12月27日、本年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞した「奈良っ子ふれあいメイト」の関係者が市長に喜びの報告をしました。この表彰は、学校と地域が連携・協働して行う活動で他の模範となるものに対して行われます。



プロの世界での決意を表明

12月9日、武蔵ヒートベアーズに新たに入団する4人の選手が市長を訪問しました。意気込みを語る各選手に対し、市長からは激励の言葉が贈られました。

ラグビーワールドカップ2019に向け、ラグビーに詳しくなろう!

ラグビークイズ

15人制ラグビーの試合時間は、前後半を合わせて何分で行われるでしょうか?

- A 70分
- B 80分
- C 90分



ラグビークイズの答えはページの一番下をご覧ください。



技術や経験を生かしてみたい!

12月19日、高嶋諭史さん(写真左)がジャマイカに、高橋豊(写真右)さんがタンザニア連合共和国に、JICAボランティアとして派遣されるのに伴い、市長を訪問しました。高嶋さんは卓球指導を、高橋さんは看護師として技術指導を、現地で行います。



大人への仲間入り

1月8日、彩の国くまがやドーム体育館で成人式が行われました。20歳を迎えた新成人の方たちは、真新しいスーツや色鮮やかな振り袖に身を包み、久しぶりの同級生との再会に顔をほころばせていました。



年末の風物詩「酉の市」

12月8日、高城神社境内で酉の市が行われました。境内には参拝客や熊手などの縁起物を買求める人たちが多く訪れており、場内の至る所から拍子木の音と商売繁盛!のかけ声が聞こえ、とてもにぎわっていました。



目指せプロバスケットボール選手

12月23日、熊谷スポーツ文化公園くまがやドーム体育館でミニバスケット講習会が開催されました。バスケットボール元日本代表や元トップリーグの選手たちの迫力のあるプレーや熱心な指導に、子どもたちは目を輝かせていました。

PHOTO NEWS

フォトニュース



ワールドカップまであと1000日です!

12月25日、ラグビーワールドカップ2019開幕1000日前イベントとして、熊谷ラグビー場Cグラウンドで「ラグビー 1都5県交流会」が開催されました。熱い試合で、寒さを吹き飛ばしました。



昇格をかけて勝負 法政大学対立正大学

12月10日、熊谷ラグビー場Bグラウンドで、立正大学の大学1部リーグ昇格をかけた関東大学ラグビーリーグ戦1・2部入替戦が行われました。40対16で法政大学が勝利しました。

伝統の妙技を披露

1月6日、高城神社や市役所前などの市内13か所で、熊谷鷲組合による出初め式が行われました。次々と繰り出される梯子乗りの技に、大きな拍手が送られていました。



おたよりパレット

~テーマ~

嫌いだったけど好きになったもの

誰かの影響で嫌いなものが好きになるということが、とてもほほえましく思えました。好きなものが多い生活は、より一層豊かなものになる気がします。おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ12月号で寄せられたご意見を紹介します。

- 焼き芋です。独身時代は食わず嫌いでしたが、結婚し妻とお茶うけに食べる機会が多くなり、好きになりました。(50代・男性)
- わさびやキムチなどの辛いものです。子どもの頃にお寿司を食べて、わさびの存在を知り恐怖。キムチも赤い色に興味を持ち、口が焼けるような辛さに恐怖して、食べられなくなりました。しかし、辛いものが大好きな夫と結婚してからは、一口二口と量が増え、今では激辛好きになりました。(20代・女性)
- 現役時代は考えられませんが、定年になり毎日の散歩が好きになりました。健康になったようです。(60代・男性)
- 母の手打ちうどんです。小さい頃、うどんは地味で質素なイメージがありましたが、大人になった今、熊谷の地粉を使った母の手打ちうどんは素朴であたたかいお袋の味です。(30代・女性)

ラグビークイズの答え:答えはBです。社会人や大学生の公式戦は、前後半40分ハーフの計80分で行います。高校生は、30分ハーフで行うことが一般的です。

読んで当てよう 市報クイズ

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・市報の感想を必ず記入し、2月22日(水)までにご応募ください(一人につき一通)。※コメントがないものは無効となります。《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☐ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※当選者の発表は、招待券の発送をもって代えさせていただきます。

12月号の正解 ①マンホール ②福川 ◆応募総数61通中、正解53通

今月の問題

次の□に入ることばを、それぞれお答えください。

- ① 岸光太郎選手は、ウィルチェアー□の選手です。
- ② 3月19日(日)第27回熊谷□マラソン大会開催!

今月のプレゼント

「おふるcafe bivouac」ご提供の無料招待券を正解者の中から抽選で20人に提供します。所在地:熊谷市久保島939 ☎048-533-2614



市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課 内線212までお問合せください。

夢追人

情熱世代

「技能五輪全国大会とび職部門で敢闘賞」

吉野 陸斗さん
(熊谷工業高校建築科3年)



祖父や父が屋根や雨どいなどを修理する板金職人で、その姿がとつてもかっこよかったです。物心ついた頃には父のような職人に自然と憧れを持ち、今の学校に入学しました。私は本当に不器用で、何をやってもなかなかうまくできず、先生にずっと怒られていました。でも、人一倍負けん気が強い性格なので、粘り強く取り組んだおかげなのか、2年生の文化祭では、単管パイプを素材にしたジェットコースターを、設計から施工まで全て

職人への憧れを抱いて

任されるまでになりました。仲間と協力して、毎日遅くまで作業し、本番前日にやっと完成！しかし、文化祭は体調不良で欠席。後日、ジェットコースターが一番人気で、子どもたちが夢中になって遊んでいたと聞き、本当に嬉しかったです。

部活は建築研究部に所属し、そこで柱や梁を組み立てるなど実技を磨く活動をしています。1年生の時に先輩が、技能五輪大会(青年技能者が技術を競う大会)に出場しており、いつか自分も出場したいと思うようになりました。

技能五輪に向け

本格始動

ある程度技術がつき始めた2年生の3学期から、大会に向け本格的に練習を開始しました。放課後や週末には毎日休まず練習を続け、7月の埼玉県予選を1位で通過し、10月の「第54回技能五輪全国大会」とび職部門に出場しました。15人の出場者の内、私以外は全員職人さんで本当に緊張しました。競技の課題では、単管パイプを使用した小屋組を5時間で組み立て、2時間半で



技能五輪で競技中の吉野さん

学校初の敢闘賞受賞

本番で少しミスをしてしまったので、半ば諦めかけていたのですが、敢闘賞を受賞しました。日頃の努力が報われた瞬間でした。毎日指導していただいた顧問の先生には本当に感謝しています。

4月から社会人です。今まで培った経験や精神力を生かして、周りの人に喜ばれるような仕事をしていきたいです。

ポップ・ステップごみ減量!

第11回

まなぼうぶんべつ エコスクール

環境美化センターでは、小さな子どもの頃から、ごみの減量とリサイクルに親んでもらうため、保育所等を訪問して「まなぼうぶんべつ エコスクール」という環境学習講座を行っています。

職員手作りの紙芝居や分別ゲームを通じ、「ぶんべつ」と「リサイクル」をやさしく、わかりやすく学ぶことができます。

ごみ収集車の実演や体験乗車も行っており、多くのお子さんや保護者の方に好評です。

今後も市内の保育所や幼稚園を対象に実施していく予定です。

◆環境美化センター(肥塚1125) ☎048-524-7121



「分別ゲーム」に挑戦!全員が正しく分別でき、ニャおざねからプレゼントがありました。

人口と世帯

平成29年1月1日現在(対前月比)

■人口 199,705人(-64) 男 99,676人(-63) 女 100,029人(-1) ■世帯 84,989(-22)

「市報くまがや」2月号は、73,200部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり15円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。